

元湯夏油

Motoyu Getou
(岩手県北上市)



元湯夏油の正面玄関



メイン通路

岩手県北上市にやってきた。今回紹介するのは夏油温泉。有名なスキー場がある夏油高原にある温泉である。数ある夏油温泉の中で、今回取材をしたのは、最も山奥にある秘湯だ。

実はお恥ずかしい限りであるが、私は「夏油」を最近までは「なつゆ」と読んでいた。しかし、その読みは正しくは「げとう」である。夏油の由来はアイヌ語だ。意味としては、「崖のあるところ」という意味らしい。冬には利用ができなくなるほどの豪雪のため、「夏湯」と呼ばれ、その後、夏に日差しで湯が油のようにゆらゆらと見えただけ、「夏油」となったとのことだ。夏油温泉の由来は、この辺りにもアイヌが住んでいた歴史的事実を示している。

元湯夏油へのアクセスは、スキー場の入口までは立派な道路であるが、そこから先は約15分ほどかなり狭く険しい山道となる。途中、標高700mほどのところで、道路を小熊が横切った。この夏は各地で人が熊に襲われる事件が相次いでいる。野生の熊を見たのは初めてであった。

山道が終わると一気に開けた場所に出てくる。古い建屋が10棟ほどある元湯夏油に到着だ。施設群は湯治場そのものであり、宿泊施設、休憩施設、自炊場所などが完備している。地元の人の話によれば、昔は田植えが終わった頃に、湯治客であふれかえっていたという。しかし、今は閑散としている。まるで40年前にタイムスリップしたかのような感覚だ。

元湯夏油には露天風呂と内湯がある。まずは複数ある露天風呂へ向かった。露天風呂へは、専用のサンダルと傘を使うことができるため、雨天時に足元が濡れることを心配したり、服が濡れることを心配する必要はない。

初めに断っておくが、露天風呂は（滝の湯以外は）いずれも通常時混浴であり、所定の時間帯のみ女性専用となる。設置場所は河原にあり、清流の涼しげな空気を浴びることが可能だ。また、脱衣室は男性用と女性用に分かれているが、ロッカーはなく、籠もなく、棚のみがある。したがって、貴重品は持参するべきではない。また、トイレもない。洗い場はなく、石鹸の使用は控えるべきであろう。浴槽

がそれほど大きくないこと、湯が無色透明であることから、混浴としては身を隠すものがタオル以外に何も無い。覚悟を決めて入浴しよう。夜はかなり暗くなると思われ、懐中電灯が必要となろう。熊の出没にも注意が必要だ。そして、いずれの露天風呂も終了時間は決められているが、外が明るくなったら利用できる。

まずは一番奥の大湯へ。フロントから距離にして 150m ほどの距離だ。川を上流に向かって歩き、階段を下りて行ったところにあるのが大湯だ。途中には女性専用の露天風呂である滝の湯がある。季節によって変わると思われるが、取材日の大湯の湯温は約 48℃。恐ろしく熱い。私は 10 秒も浸かっていたら出来なかった。仕方なく、湯船の脇に腰を掛けて、洗面器で湯をすくい取って体に浴びせるしかできない。幸か不幸か、取材班以外の客は男性 1 人のみで女性はいなかった。尚、大湯の湯は神経痛、リウマチ、皮膚病などに効くとされ、10:00 からの 1 時間、17:00 からの 1 時間は女性専用となる。また、終了時刻は 21:30 である。



大湯



疝気の湯

次に向かったのは少し下流側にある露天風呂・疝気の湯だ。こちらは定員 4 人ほどの小さい湯船だ。湯温はぬるめで、私にとっては極めて快適だ。ただし、疝気の湯には大湯にあったような小屋組がない。取材日は雨が降っていたため、少々快適性に欠けた。尚、疝気の湯は婦人病、痔などに効くとされ、10:00 からの 1 時間、17:00 からの 1 時間は女性専用となる。また、終了時刻は 21:30 である。

次に向かったのは、さらに下流側にある露天風呂・真湯だ。こちらの定員は大湯と同じくらいで、湯温は適温。胃腸病、ぜんそく、虚弱児童に効くとされ、11:00 からの 1 時間、16:00 からの 1 時間、20:30 からの 1 時間は女性専用となる。また、終了時刻は 21:30 である。

真湯から見て川の対岸にあるのが女（目）の湯である。別に女性専用ではなく、混浴だ。こちらの湯温はややぬるめ。快適な温度だ。定員は 10 人くらいだろうか。川を渡る際、狭い橋を利用するため、滑り落ちないように注意しよう。目の疾患に効くとされ、11:00 からの 1 時間、16:00 からの 1 時間は女性専用となる。また、終了時刻は 20:00 である。



真湯



女(目)の湯

以上、4つの露天風呂を楽しみ、最後に内湯にやってきた。内湯は白猿の湯と小天狗の湯の2つがあるが、今回は後者のみを紹介する。4つもの露天風呂を楽しんだため、少々体がだるくなっている。体を洗ったら、浴槽に浸かるのはほどほどにして入浴を終えた。小天狗の湯は洗い場が4か所あり、定員12人ほどの浴槽があるのみだ。洗い場にはシャンプーとボディーソープが具備されている。浴槽の湯温はややぬるめだ。浴室は石の床、無垢の木の壁と天井で覆われており、落ち着いた雰囲気である。♫の入浴としては、快適そのものであった。尚、小天狗の湯はリウマチ、高血圧に効くとされ、男女別になっており、9:00~12:00の時間帯以外はいつでも利用できる。

久しぶりに入浴で体力を消費した気がした。しかし、ここを湯治場の拠点にするなら、様々な効能を有する温泉で、有意義な時間が過ごせると確信する。残念なのは、冬期には深い積雪のために閉鎖されることだろうか。

DATA

名称	元湯夏油
所在地	岩手県北上市和賀町岩崎新田1地割22
電話	090-5834-5151
営業時間	本文参照
定休日	無休(冬期は休業)
入浴料	大人(中学生以上)600円、小人(3歳以上)300円(消費税、入湯税(大人75円)別途)
サウナ	なし
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2016年7月某日
取材	銭湯愛好会東京支部